

# 令和5年度 第1回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 次第

日 時:令和5年5月29日(月)11時～

場 所:本庁舎4階 政策会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

- (1) 成長・発展プランのこれまでの経緯
- (2) 令和4年度成長・発展プランの達成状況
- (3) 成長・発展プランの取組状況
- (4) 地下鉄7号線中間駅まちづくり方針
- (5) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況と今後のスケジュール
- (6) 地下鉄7号線中間駅まちづくり事業の取組状況と今後のスケジュール
- (7) 浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定について

4. 閉 会

# (1) 成長・発展プランのこれまでの経緯

平成24年9月

## 成長・発展プラン 策定

○地下鉄延伸の「検討」段階から、地域の成長・発展の「実行」段階へ移行

○43方策でスタート

平成30年10月

## 成長・発展プラン 改定

○長期的視点に立った理念や目標等を明確にし、持続可能なまちづくりを推進する新プランに改定

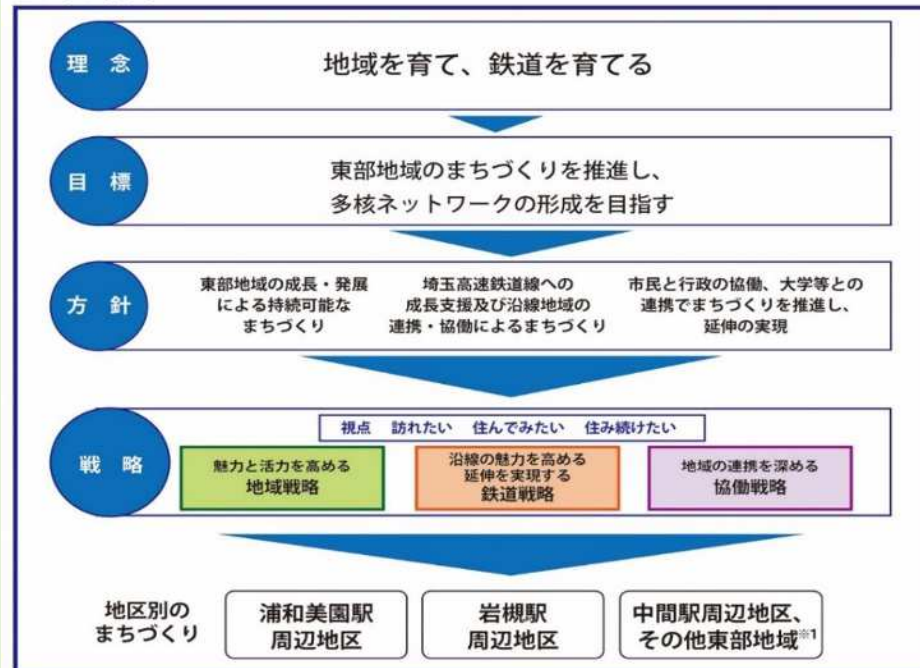
○7方策を浦和美園、岩槻、中間駅・その他東部地域の3地区で実施

平成30年10月～令和4年度

## 成長・発展プラン強化推進

成長・発展プラン概要

### 基本計画



### 行動計画

東部地域の成長・発展に向けた実践方策

地域	地域	地域	鉄道	協働	地域	鉄道	地域	鉄道	協働
地域の情報発信	まちの基盤整備	地域内外の移動確保	地下鉄7号線延伸実現に向けた検討	地域が連携・協働したまちづくり	持続可能なまちづくりに向けた検討				地域資源を活用した交流

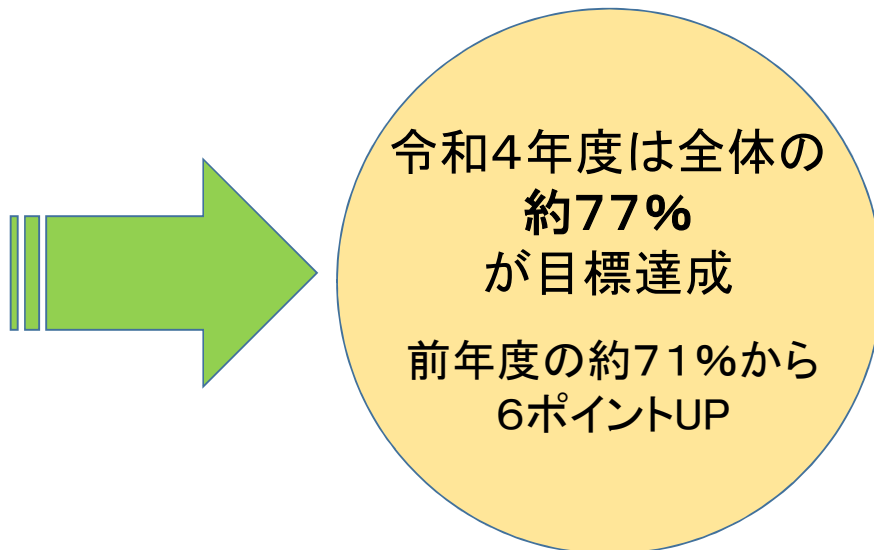
### 成長目標も新たに設定

浦和美園駅周辺地区、岩槻駅周辺地区の定住人口、交流人口を目標設定

## (2) 令和4年度成長・発展プランの達成状況

### 達成状況の整理 【7方策57事業 達成状況一覧】

達成状況	事業数			増減
	R2年度	R3年度	R4年度	
計画を上回って達成	4	8	10	2
計画を概ね達成	24	33	34	1
計画を推進中	18	15	10	-5
計画を実施できなかった	13	2	3	1
<b>合計</b>	<b>59</b>	<b>58</b>	<b>57</b>	



### ■ マネジメントシートサンプル

R4年度		令和5年3月9日作成(更新)				
浦和美園～岩槻地域成長・発展プロジェクトマネジメントシート						
①事業No.	1					
②地区名	浦和美園駅周辺 岩槻駅周辺 中間駅周辺 その他東部地域					
③実践方策名	地域の情報発信					
④事業名	ブランドイメージ等の情報発信					
⑤担当所管	未来都市推進部	⑥担当者	新田 TEL:829-1871(内2182)			
⑦関係所管						
⑧事業概要	⑨図表					
ウェブサイトを通じて地域の魅力を発信し、ブランド化を促進する。		<p>ウェブサイト『希望を未来へつなぐ道 浦和美園～岩槻ガイド』</p>				
⑩当該年度の事業内容 タイムリーな情報の発信を継続して行いつつ、定住人口・交流人口の増加に寄与するコンテンツの充実を図る。						
⑪各年度の取組内容と目標						
年度	2018	2019	2020	2021	2022	備考
当初計画	ウェブサイトの情報追加および更新					
	サイト構成変更	モバイル対応				
最新計画	ウェブサイトの情報追加および更新					
	サイト構成変更	モバイル対応				
実績	サイト改修 (掲載情報の整理)	サイト改修 (モバイル対応)	コンテンツ作成・ 情報発信	コンテンツ作成・ 情報発信	コンテンツ作成・ 情報発信	
数値目標	閲覧数 28,000件/年	閲覧数 29,000件/年	閲覧数 30,000件/年	閲覧数 31,000件/年	閲覧数 31,000件/年	
達成状況	閲覧数 28,000件/年	閲覧数 22,000件/年	閲覧数 10,800件/年	閲覧数 25,200件/年	閲覧数 42,000件/年	2022年度達成状況は2月末時点
⑫当該事業の成長・発展プラン成長目標への効果						
関係する成長目標	地区	事業の実施による成長目標達成への効果(アウトカム)				
定住人口増	浦和美園 岩槻 中間 東部地域	ウェブサイトやメディアを通じて地域の魅力を発信することにより、その魅力が信頼に伝達され、ブランド化(住みたくなるまちのイメージ)を促進し、定住人口の増加を図る。				
交流人口増	浦和美園 岩槻 中間 東部地域	ウェブサイトやメディアを通じて地域の魅力を発信することにより、その魅力が信頼に伝達され、ブランド化(訪れたくなるまちのイメージ)を促進し、交流人口の増加を図る。				
その他						
⑬当該年度の事業費 (単位:千円)						
事業費	合計	財源内訳				備考
		一般財源	国庫支出金	市債	その他	
当初予算要求額	1,644	1,644	0	0	0	
当初予算額	1,644	1,644	0	0	0	
決算額	0					
⑭当該年度の取組結果						
⑮評価	⑯の事業目標に対して	◎	理由 イベント情報等の発信件数を昨年度よりも増やすとともに、定住・交流促進に係る特集記事を掲載するなどウェブサイト上のコンテンツの充実を図ったため、閲覧数については目標の件数を大きく上回って達成することができた。			
⑯課題 ウェブサイト上のコンテンツ数が増えることで閲覧者の検索性が低下してしまっているため、古い情報を定期的に修正・削除するなど、より閲覧しやすい環境を整える必要がある。						
⑰次年度への対応策 引き続き、定住・交流人口増加のためのコンテンツを作成・発信するとともに、ウェブサイト上の既存コンテンツの情報を精査する。						

マネジメントシートでの担当所管による事業毎の達成状況の確認と効果分析の実施

## (2) 令和4年度成長・発展プランの達成状況

### ■成長目標に対する達成状況

※各数値は概数

地区	目標指標	H29年度 (基準値)	目標値					
			H30年度 (2018年)	R1年度 (2019年)	R2年度 (2020年)	R3年度 (2021年)	R4年度 (2022年)	
浦和美園駅周辺	定住人口 (※実績は各年度9月時点)	(単位:人) 22,000 18,000 14,000 10,000 14,100	目標 15,800 実績 16,300	目標 17,600 実績 18,400	目標 19,200 実績 20,400	目標 20,600 実績 21,900	目標 22,200 実績 23,200	
	病院施設、教育施設、商業・業務施設等	—	整備 →				5,000人/日	
	交流人口 埼玉スタジアム観戦者 (Jリーグ、代表戦)	(単位:人) 930,000 600,000 100,000 (H18~27平均)	目標 944,000 実績 857,000	目標 958,000 実績 746,000	目標 972,000 実績 165,000	目標 986,000 実績 350,800	目標 1,000,000 実績 534,400	
	イベント開催	(単位:人) 480,000 388,000 280,000 80,000 (H25~28平均)	目標 400,000 実績 407,000	目標 412,000 実績 449,000	目標 425,000 実績 106,000	目標 437,000 実績 126,100	目標 450,000 実績 308,500	
岩槻駅周辺	定住人口 (※実績は各年度9月時点)	(単位:人) 20,000 15,000 10,000 5,000 11,700	目標 12,200 実績 11,600	目標 13,000 実績 11,800	目標 14,100 実績 11,800	目標 15,600 実績 11,700	目標 17,600 実績 11,800	
	交流人口 ・岩槻人形博物館 ・にぎわい交流館いわつき	—	整備 →		160,000 110,000	目標 150,000 実績 117,000	目標 150,000 実績 175,000	目標 150,000 実績 180,300
	イベント開催	(単位:人) 477,000 430,000 230,000 30,000 (H25~28平均)	目標 478,000 実績 491,000	目標 479,000 実績 390,000	目標 480,000 実績 45,000	目標 480,000 実績 117,000	目標 480,000 実績 298,300	



## 地域の情報発信

地域

### ◎まちのブランド化に向けた情報発信（ウェブサイト）

- ・ウェブサイトによる地域の情報発信強化
- ・美園地区の地域資源発信プロジェクト「美園人」



## まちの基盤整備

地域

### ◎土地区画整理事業の推進

- ・土地区画整理事業を推進し、良好な市街地を整備



新設された保育園



スマートホーム・コミュニティ



大門上池調節池広場

## 地域内外の移動確保

地域

### ◎多様な移動手段の提供

- ・埼玉高速鉄道の利用促進
- ・自転車ネットワーク整備計画の推進
- ・シェアスクーターの実証実験を実施



シェアサイクル



シェアスクーター

## 持続可能なまちづくりに向けた検討

地域 鉄道

- ◎地下鉄7号線延伸線沿線におけるまちづくりや、企業誘致に向けた検討

### ◎土地活用の促進



病院予定地

## 地域が連携・協働したまちづくり

協働

### ◎地域が連携したまちづくりの実施

- ・「公民+学」連携によるまちづくり



みそのいち・美園ママルシェ  
(一社) 美園タウンマネジメント



## 地域資源を活用した交流

地域 鉄道 協働

### ◎スポーツ・イベント等の実施



浦和美園まつり & 花火大会



綾瀬川クリーンウォーク

## 地下鉄7号線延伸実現に向けた検討

鉄道

- ◎地下鉄7号線延伸に向けた調査・検討



## 地域の情報発信

地域

◎歴史・文化資源のブランド化に向けた情報発信

・ターゲットを絞った観光情報誌等の作成



観光情報誌「#iwatsuki」

・岩槻駅東西自由通路等の活用



岩槻駅東西自由通路ガラスケース

## まちの基盤整備

地域

◎土地区画整理事業の推進

・土地区画整理事業を推進し、良好な市街地を整備



七里駅北側特定土地区画整理事業

◎公園、緑地の整備



仲町りんどう公園

## 地域資源を活用した交流

地域 鉄道 協働

◎観光機能及び観光資源の強化

◎歴史や文化にちなんだイベントの実施



観光ボランティア 人形のまち岩槻朝顔市ガイド

## 地下鉄7号線延伸実現に向けた検討

鉄道

◎地下鉄7号線延伸に向けた調査・検討

## 持続可能なまちづくりに向けた検討

地域 鉄道

◎都市機能の強化に向けた取組の検討及び推進

・リノベーションまちづくり



事業化第2号案件「MIYATAYA BAGEL」

第3回岩槻リノベーションスクール

## 地域が連携・協働したまちづくり

協働

◎住民主体のイベントの創出

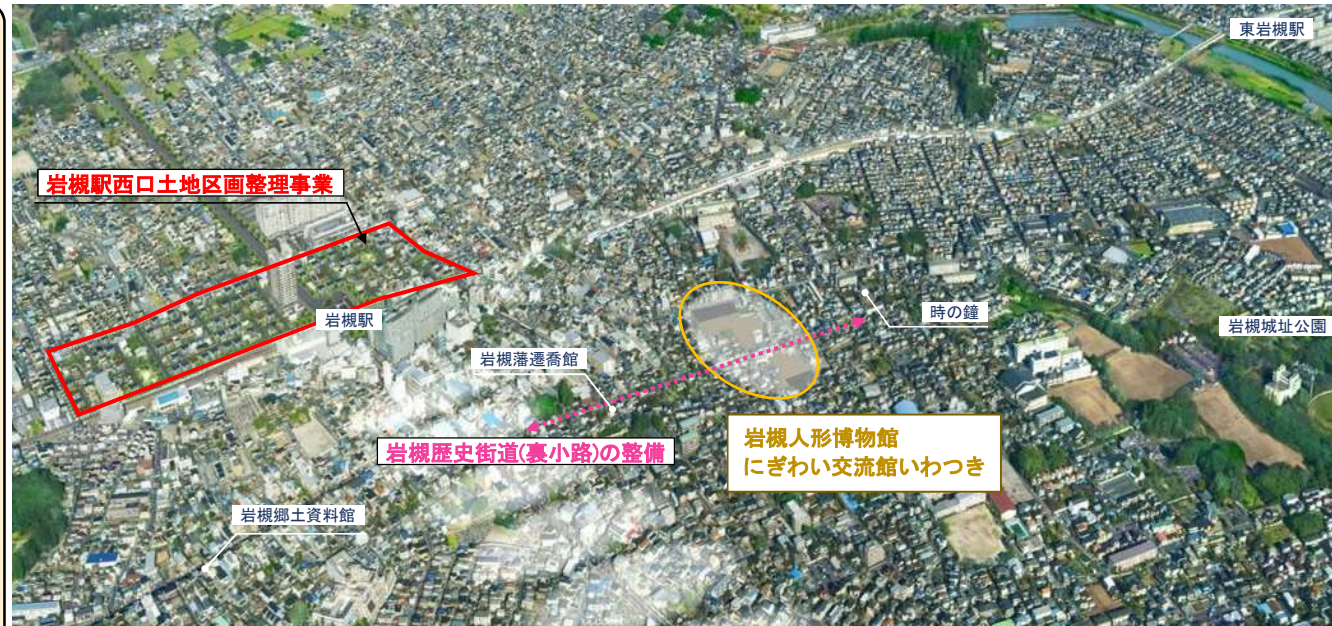


五節句イベント

◎地域が連携したまちづくり



岩槻まちゼミ



## 地域内外の移動確保

地域

◎回遊性の向上など移動手段の具体的な検討、実践

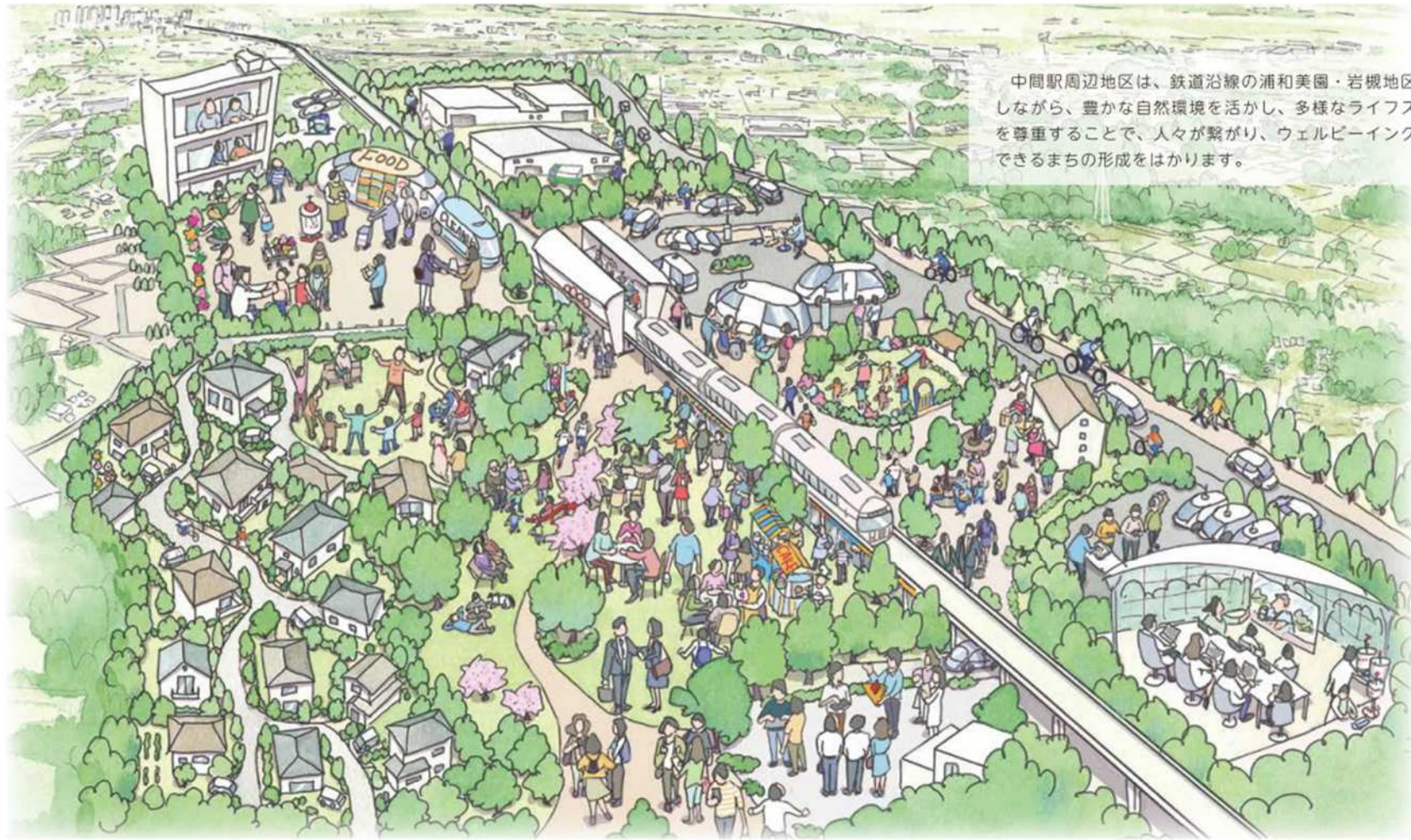


まちなかのシェアサイクル



# (4) 地下鉄7号線中間駅まちづくり方針

## 地区の将来像



ゆとり居住



ウォークブル空間



駅前広場



高架下にぎわい



産学公民連携





# (4)地下鉄7号線中間駅まちづくり方針

## まちづくりのテーマ

テーマ 1 ニューノーマルに相應しい、多様性に対応した職住遊学を実現するまち



### まちづくりの方針

- 方針① 在宅ワークなどフレキシブルワークに対応したゆとりある住環境を創出します。
- 方針② 多様なライフスタイルに合わせたQOLの向上を目指します。

テーマ 2 楽しむオープンスペースにより、人々がつながるまち



### まちづくりの方針

- 方針① スマートな交通結節と居心地のよいオープンスペースによるウォークアブルを推進します。
- 方針② 公園などの緑豊かな自然を活かした滞在できる空間により、人々のつながりと地域活力を創造します。

テーマ 3 自然と先端技術が融合した持続可能なまち



### まちづくりの方針

- 方針① SDGs・ゼロカーボン実現に向けた建築・情報・エネルギーシステムを導入します。
- 方針② 産学公民の連携による、地域と人の健康維持など社会施策に取り組みます。
- 方針③ 先端技術を活かした安全に暮らせるまちづくりを推進します。

テーマ 4 地域内外のつながりにより成長し続けるまち



写真：Google

### まちづくりの方針

- 方針① 各種機能を共有することにより、さいたま市全域への波及を目指します。
- 方針② 浦和美園、岩槻との連携と地域特性を活かした持続成長を目指します。
- 方針③ 中間駅周辺地域との連携を強化し、まちづくり方針の実現に向けた産学公民による地域マネジメントに取り組みます。



# (4) 地下鉄7号線中間駅まちづくり方針

## 土地利用の配置の方針



### 緑を保存する土地利用

地域資源である緑地をできるだけ保存するために、緑豊かな公園整備や既存敷地内の緑や周辺農地を活かした土地利用を促進します。



### ゆとり居住街区の形成

リモートワークや小商いなどができる、フレキシブルなゆとり住宅街区を形成します。



### ウォーカブルなオープンスペースの創出

歩行者優先の動線と併せて、ウォーカブルで居心地の良いオープンスペースを確保します。



### 産学公民連携による地域ブランドの向上

目白大学と新旧住民で連携した施策に取り組むことで「大学街」としての地域ブランドの向上をはかります。



既存の資源を活かしながら、鉄道新駅を中心とした土地利用と基盤整備により、あらたなまちを形成します。

### 身近な生活施設

商業施設、子育て施設、福祉施設等生活関連施設については、利便性を考慮しながら、複合施設として集合住宅の低層階等に配置します。



### 安全な交通ネットワークの確保

安全性を確保しながら利便性の高い交通ネットワークを構築します。

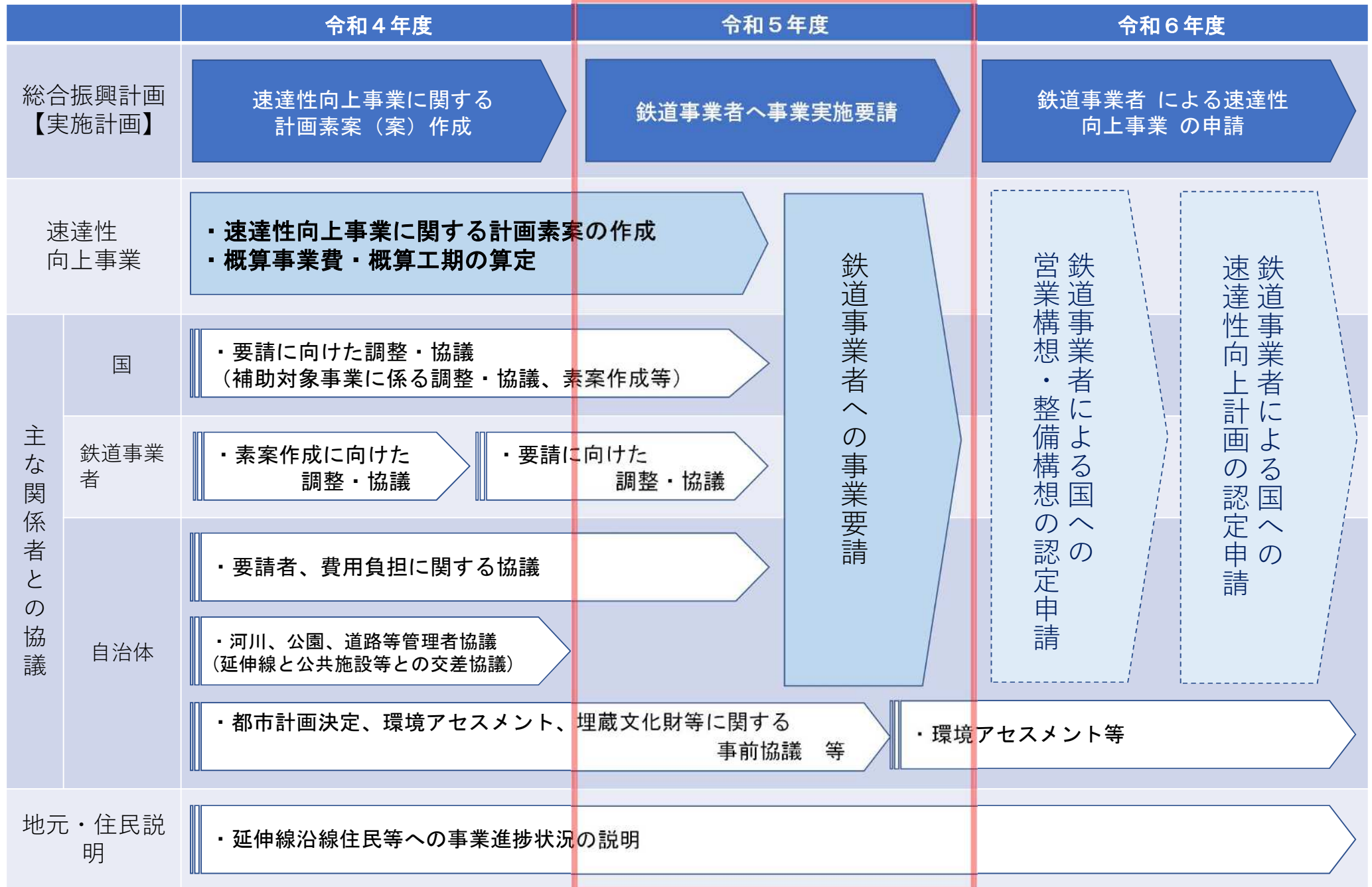


### 地区の特性を活かした産業の誘致

目白大学の健康医療分野や周辺地区の特性を活かしながら産業の誘致をはかります。

※この図は、まちづくりを検討するために位置関係を仮定したものであり、計画として決定しているものではありません。

# (5) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況と今後のスケジュール





# (6) 地下鉄7号線中間駅まちづくり事業の取組状況と今後のスケジュール

## 今後のスケジュール

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
総合振興計画【実施計画】		現況調査、都市施設等調査実施	区画整理事業計画素案作成	環境アセス開始
まちづくり事業	まちづくり方針	有識者会議意見（4回） ↓ 《まちづくり方針策定》	《実現化方策の検討》 アンケート調査、ワークショップ、実現化プラン（素案）作成	《地元勉強会の開始》 まちづくり勉強会、実現化プラン（案）作成
	区画整理事業計画	《区画整理基本調査》 現況調査、権利調査、土地利用計画設定 等	《区画整理概略設計》 施行地区の設定、区画整理概略設計 等	《区画整理基本設計等》 基本設計、施設設計、概算事業費算出、権利調査、現況測量 等
	環境影響評価		調査に関する事前協議 等	調査計画書（案）作成
	地元・住民説明	まちづくり方針案の説明会 （※地下7延伸計画案と同時開催）	アンケート調査、ワークショップ開催	地元説明会、意向調査

鉄道延伸と一体的な事業化

### <令和5年度の主な取組>

- まちづくり方針  
令和4年度に策定したまちづくり方針をもとに、アンケート調査、ワークショップを行いながら、実現化方策を検討する。
- 土地区画整理事業  
令和4年度の基本調査をもとに、施行地区の設定、区画整理概略設計を行う。
- 環境影響評価  
調査計画書(案)の作成に向け、調査、予測及び評価の項目と方法等の検討に着手する。

## (7) 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの改定について

### 成長・発展プラン経緯

平成24年度

成長・発展プラン策定  
43方策でスタート

プランに位置づけられた各種方策を展開し、地域の魅力を高め、定住・交流人口を増加させることで鉄道延伸実現につなげる。

平成30年度

成長・発展プラン改定

理念や目標等を明確化した基本計画と具体的に推進する方策の行動計画に区分し、持続可能なまちづくりを推進する新たな成長・発展プランに改定。

《行動計画（第1期）》

基本計画に基づく7方策の具体的な実践方策を展開することで、東部地域の定住・交流人口を増加させる。

令和5年度

《行動計画（第2期）策定予定》

地下鉄7号線延伸事業が事業実施段階を迎えることを踏まえ、持続的成長の取組拡充とともに、鉄道延伸事業及び中間駅まちづくりの事業監理に取り組む。

### 行動計画第2期策定方針（案）

#### ①さいたま市東部地域の持続的な成長発展

＜まちづくりの実践方策＞

基本計画、行動計画第1期の結果や評価に基づき、東部地域の成長発展に資する、着実に効果が得られる方策を実践。これにより、暮らしやすさ、賑わい、地域価値、まちの関心・魅力を向上させ、東部地域の持続的な成長発展を目指す。

#### ②地下鉄7号線延伸促進・中間駅まちづくりの具体化

＜地下鉄7号線延伸事業の推進＞

延伸事業の早期実現を目指し、都市鉄道等利便増進法に基づく速達性向上事業の実施に係る鉄道事業者への要請を経て、鉄道事業者による国への申請に対する支援、都市計画決定等の手続きを実施する。

＜中間駅まちづくり事業の推進＞

まちづくり方針をもとに、まちづくりの実現化方策の検討、土地区画整理事業計画の作成、関係機関協議、環境影響評価の実施など、事業化に向け具体化を図る。



## 令和5年度 第1回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1 日 時 令和5年5月29日（月）11：00～11：30

2 会 場 さいたま市役所 4階 政策会議室

3 出席者 座長 清水市長  
副座長 日野副市長、高橋副市長、  
委員 都市戦略本部長、財政局長、スポーツ文化局長、環境局長、  
経済局長、都市局長、建設局長、見沼区長、  
緑区長、岩槻区長

4 欠席者 小川副市長

### 5 議事概要

#### (1) 挨拶（座長）

- ・浦和美園～岩槻地域の成長・発展については、「地域を育て、鉄道を育てる」という理念のもと、東部地域の魅力を高めることで、地下鉄7号線延伸事業の評価を向上させ、延伸実現に大きく寄与するもの。
- ・地下鉄7号線については、現在、鉄道事業者に対する要請を行う準備を進めており、中間駅周辺のまちづくりについても、地下鉄7号線と一体的な事業化に向け、調査・検討を進めている。
- ・本日は、成長・発展プランの効果を検証するとともに、地下鉄7号線及び中間駅周辺のまちづくり、また、成長・発展プラン行動計画の改定について議論を頂きたいと考えている。
- ・委員の皆様には活発な発言をお願いするとともに、今後も引き続き成長目標の達成に向け、全庁的な推進にご協力いただきたい。

#### (2) 議事(1)～(4)に関する事務局説明

- (1) 成長・発展プランのこれまでの経緯
- (2) 令和4年度成長・発展プランの達成状況
- (3) 成長・発展プランの取組状況
- (4) 地下鉄7号線中間駅まちづくり方針  
を一括して説明。

#### (3) 議事(1)～(4)に関する意見交換

(意見なし)

#### (4) 議事(1)～(4)に関する座長意見

- ・交流人口については、近年、コロナ禍の影響を受け低迷していたが、コロナの収束を踏まえ、なるべく早く以前の賑わいが取り戻せるよう、取組を推進していただきたい。

**(5) 議事 (5) ～ (7) に関する事務局説明**

- (5) 地下鉄7号線延伸事業の取組状況と今後のスケジュール
- (6) 地下鉄7号線中間駅まちづくり事業の取組状況と今後のスケジュール
- (7) 浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定について  
を一括して説明。

**(6) 議事 (5) ～ (7) に関する意見交換**

(意見なし)

**(7) 座長より会議の総括**

- 地下鉄7号線延伸については、鉄道事業者への事業実施要請に向け、関係自治体及び鉄道事業者等との協議を踏まえ、取組を着実に進める必要がある。
- 中間駅のまちづくりについては、策定したまちづくり方針に基づいた実現化の方策を検討するとともに、土地区画整理事業の概略設計等に着手していく。
- 地下鉄7号線延伸を実現するためには、所管を超えた全庁的な取組みが必要になる。鉄道延伸と中間駅のまちづくりは、都市局や建設局を中心とした所管との連携が不可欠となるので、関係する所管においては、より一層の協力をお願いする。
- 地域住民に対しては、適切な情報提供と丁寧な説明により、信頼関係を構築できるよう努めて頂きたい。

【事務局】 都市戦略本部 未来都市推進部